



メモを取りながら社員に仕事について質問する参加者(中央)＝北島町鯛浜

日本語を母語としない小中高生

日本社会のマナー学ぶ

北島町 体験職場

日本語を母語としない県内の小中高生が4日、北島町鯛浜の民間会社で職場体験学習をした。フィリピン、米

国、中国出身の7人が参加。社員と交流を深めながら日本社会のマナーや言葉遣いを学んだ。訪れたのはフジタ建設コンサルタント。橋や道路などの設計業務について説明を受けた後、職場で働く社員に「目標は何ですか」

「入社するために資格は必要ですか」などと質問した。

職場体験は、市民グループ「JTMとくしま日本語ネットワー」が徳島中央ロータリークラブの協力を得て初めて企画した。

フィリピンで生まれた育ったアビシヨ・グチエレスさん(16)は「小島西高2年」は「日本の会社で働く人の仕事ぶりが分かり、将来のために勉強になった」と話した。

(山口和也)